

第1回の課題レポートは、前にある
緑色のカゴの中に提出して下さい。

第1回の課題レポートの提出締切は、
5月1日(金)です。

前回(4月15日)に欠席した人は、
前にある「講義計画」A3×1枚を
取ってください。

「マイナビ・日経 2027年卒大学生就職企業人気ランキング」を発表（2026年4月20日公開）

文系はニトリが4年連続1位。「セガ」「トヨタ自動車」「Sky」が新たにトップ10入り。理系は前年2位の「味の素」が1位に。そのほか自動車関連企業が人気の傾向

マイナビは、日本経済新聞社と共同で、2027年卒学生を対象とした「マイナビ・日経 2027年卒大学生就職企業人気ランキング」を実施し、文系ランキング（総合・男子・女子）と理系ランキング（総合・男子・女子）の各上位100社を発表します。

■文系総合:「ニトリ」が4年連続トップ。前年3位の「味の素」が2位にランクアップした。「コナミグループ」が前年10位から4位と前年に引き続きさらに順位を上げたほか、「セガ」「トヨタ自動車」「Sky」が新たにトップ10入りを果たした。

文系総合ランキング:上位10位

順位	企業名	得票	前年順位
1	ニトリ	1,043	1
2	味の素	638	3
3	伊藤忠商事	530	4
4	コナミグループ	449	10
5	セガ	441	13
6	全日本空輸(ANA)	425	8
7	JTBグループ	416	7
8	トヨタ自動車	407	12
9	みずほフィナンシャルグループ	401	2
10	Sky	396	16

■理系総合：前年2位の「味の素」が首位に。6位「ダイキン工業」が前年115位から大きく順位を上げた。「本田技研工業(Honda)」が前年13位から4位、「デンソー」が前年10位から7位、「トヨタ自動車」が8位をキープするなど、自動車関連が存在感を示している。

理系総合ランキング: 上位10位

順位	企業名	得票	前年順位
1	味の素	460	2
2	Sky	331	3
3	KDDI	270	4
4	本田技研工業(Honda)	252	13
5	三菱重工業	219	7
6	ダイキン工業	216	115
7	デンソー	215	10
8	トヨタ自動車	210	8
9	セガ	191	11
10	パナソニックグループ	180	5

【マイナビ・日経】2026年卒大学生就職企業 人気ランキング（公開日：2025.04.15）

文系総合ランキング

「ニトリ」が3年連続でトップ。「みずほフィナンシャルグループ」も2年連続で2位をキープした。「全日本空輸（ANA）」がトップ10に入り、同じく順位を上げた「日本航空（JAL）」「JTBグループ」など航空・旅行関連が上位に。「良品計画」「コナミグループ」も前年から大きく順位を上げた。

- 調査期間 2024年10月1日(火)～2025年3月25日(火)
 - 調査対象 2026年3月卒業見込みの全国大学3年生、大学院1年生(調査開始時点)
 - 調査方法 就職情報サイト「マイナビ2026」および当社発行の就職情報誌、当社主催のイベント会場でアンケート告知を行い、WEB上のアンケートフォームで回収
 - 企業人気ランキングは5社連記方式
 - 選社理由は1社につき2項目を選択する複数回答
- 有効回答数 35,419名

順位	企業名	得票	前年順位
1	ニトリ	1,248	1
2	みずほフィナンシャルグループ	683	2
3	味の素	653	5
4	伊藤忠商事	591	3
5	日本航空(JAL)	573	7
6	良品計画	512	30
7	JTBグループ	505	9
8	全日本空輸(ANA)	491	16
9	バンダイ	490	10
10	コナミグループ	453	31

理系総合ランキング

「ソニーグループ」が4年連続で1位。2位は同じく4年連続で「味の素」に。「サントリーグループ」も前年25位からトップ10入りとなった。前年10位から8位に順位を上げた「トヨタ自動車」や、前年64位から大きく順位を上げた「デンソー」など自動車関連が人気。

順位	企業名	得票	前年順位
1	ソニーグループ	533	1
2	味の素	487	2
3	Sky	384	4
4	KDDI	315	3
5	パナソニックグループ	299	5
6	NTTデータ	257	7
7	三菱重工業	246	6
8	トヨタ自動車	245	10
9	サントリーグループ	220	25
10	デンソー	200	64

「マイナビ・日経 2025年卒大学生就職企業 人気ランキング」を発表

(2024.04.09)

株式会社マイナビ(本社:東京都千代田区、代表取締役 社長 執行役員:土屋芳明)は、株式会社 日本経済新聞社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:長谷部剛)と共同で、2025年卒学生を対象とした「マイナビ・日経 2025年卒大学生就職企業人気ランキング」を実施し、文系ランキング(総合・男子・女子)と理系ランキング(総合・男子・女子)の各上位100社を発表します。

なお、当社では、「マイナビ大学生就職企業人気ランキング」を1978年(1979年卒)より毎年実施しており過去の順位等は同調査を参照しています。上位10社(文系総合、理系総合)および概況は以下の通りです。

文系総合ランキング:上位 10 位

順位	企業名	得票	前年順位
1	ニトリ	1,400	1
2	みずほフィナンシャルグループ	766	15
3	伊藤忠商事	753	5
4	三菱UFJ銀行	690	6
5	味の素	675	7
6	東京海上日動火災保険	615	2
7	日本航空(JAL)	614	13
8	セガ	552	11
9	JTBグループ	518	3
10	バンダイ	484	17

理系総合ランキング:上位 10 位

順位	企業名	得票	前年順位
1	ソニーグループ	671	1
2	味の素	477	2
3	KDDI	389	121
4	Sky	380	4
5	パナソニックグループ	312	25
6	三菱重工業	293	3
7	NTTデータ	251	5
8	キヤノン	227	13
9	セガ	226	6
10	トヨタ自動車	210	9

■文系総合:「ニトリ」が2年連続のトップに。「みずほフィナンシャルグループ」が前年15位から大きく票を伸ばし2位にランクイン。「三菱UFJ銀行」も6位から4位へ順位を上げるなど躍進した。「セガ」、「バンダイ」といったゲーム・玩具関連企業も順位を上げたほか、前年13位だった「日本航空(JAL)」がさらにランクアップを果たし7位となった。

■理系総合:「ソニーグループ」が3年連続1位。2位には3年連続で「味の素」がランクインした。3位「KDDI」は前年121位から大幅にランクアップしたほか、「パナソニックグループ」が25位から5位、「キヤノン」が13位から8位と順位を上げ、トップ10入りを果たした。

【マイナビ・日経】2024年卒大学生就職企業 人気ランキング (2023.04.12)

文系はニトリが初の1位。理系はソニーグループが2年連続1位

就職情報サイト「マイナビ2024」および当社発行の就職情報誌、当社主催のイベント会場でアンケート告知を行い、WEB上のアンケートフォームで回収(41,185名回答)

- 企業人気ランキングは5社連記方式
- 選社理由は1社につき2項目を選択する複数回答

■文系総合

「ニトリ」が初のトップとなった。2位には前年トップの「東京海上日動火災保険」が続く。3位の「JTBグループ」は、旅行業界の人気回復を受けて前年19位から大きく票を伸ばした。4位には初任給引き上げが話題となった「ファーストリテイリング」が前年13位からランクイン。また、航空需要の高まりから「日本航空(JAL)」が前年35位から13位と大きく順位を上げている。

■文系総合ランキング(上位10位)

順位	企業名	得票	前年順位
1	ニトリ	1193	3
2	東京海上日動火災保険	997	1
3	JTBグループ	799	19
4	ファーストリテイリング (ユニクロ・ジーユー・プラステ・セオリー)	721	13
5	伊藤忠商事	662	5
6	三菱UFJ銀行	637	21
7	味の素	620	10
8	日本生命保険	593	4
9	ソニーミュージックグループ	585	6
10	Plan・Do・See	572	12

■理系総合

「ソニーグループ」が2年連続1位、2位に「味の素」がランクインした。3位「三菱重工業」は前年8位からランクアップ。6位の「セガ」と10位の「アイリスオーヤマ」は共に前年47位からトップ10入りし、大幅なランクアップとなった。

■理系総合ランキング(上位10位)

順位	企業名	得票	前年順位
1	ソニーグループ	475	1
2	味の素	363	2
3	三菱重工業	259	8
4	Sky	235	7
5	NTTデータ	234	4
6	セガ	166	47
7	カゴメ	161	9
8	富士通	158	3
9	トヨタ自動車	156	5
10	アイリスオーヤマ	154	47

「産経新聞社 × ワークス・ジャパン2023年卒 大学生就職人気企業ランキング」の調査結果を発表

(株式会社ワークス・ジャパン 2022.3.7.)

1. コロナ時代でオンライン中心の就職活動を行っている学生は、どのような価値観や視点で就職希望先企業を選択したのか
2. 文系総合では、「生命・損害保険」「総合商社」「銀行・証券」が上位に
3. 理系総合では、「IT・ソフトウェア」「コンサル」に人気が集まる
4. 就職活動の起点はインターンシップとなっている
5. 企業の取り組みに対して学生の共感・納得を促すための情報発信も重要に

文系総合 TOP 20

1	伊藤忠商事	966 pt	11	三井物産	446 pt
2	損害保険ジャパン	936 pt	12	講談社	428 pt
3	東京海上日動火災保険	884 pt	13	三井不動産	407 pt
4	三菱商事	704 pt	14	NTTデータ	386 pt
5	みずほフィナンシャルグループ	674 pt	15	博報堂／博報堂DYメディアパートナーズ	377 pt
6	三菱UFJ銀行	644 pt	16	三菱地所	365 pt
7	三井住友銀行	587 pt	17	楽天グループ	362 pt
8	アクセンチュア	524 pt	18	サントリーホールディングス	324 pt
9	ニトリ	491 pt	19	味の素	321 pt
10	三井住友海上火災保険	476 pt	20	デロイトトーマツコンサルティング	317 pt

【金融大手、総合商社に支持。インターンシップが採用活動の起点に】

文系総合の1位は、伊藤忠商事、2位は損害保険ジャパン、3位には東京海上日動火災保険が入りました。伊藤忠商事は、視聴者制限なしのオンラインセミナーやVRを活用したイベントを開催するなど、現在の学生と親和性の高い情報発信を強化。損害保険ジャパンは、22卒よりインターンシップをオンライン化。アンケートやチャット機能を活用したグループワーク方式で業務体験を促すなど、企業と学生の双方向性を意識した広報活動や現場社員との交流を多く設けて企業理解や共感を促す施策を数多く行ったことで、学生の支持を集めたようです。

就職活動の起点はインターンシップ

多くの企業が、昨年9月に実施した「インターンシップ 人気企業ランキング」でも上位にランクインしています。学生からも「事業戦略パートナーとして新しいビジネスモデルへ挑戦している姿勢に共感できた」(東京海上日動火災保険)、「副業や週2週3勤務が可能など、働き方改革への高い意識を感じた」(みずほフィナンシャルグループ)といった声が聞かれ、インターンシップを起点として学生と密なコミュニケーションを徹底し、企業理解・事業理解を促すことで学生からの高い興味関心につなげているようです。

文系男子では「不動産」、文系女子では「出版」が人気

その他の業界に目を向けると、9位のニトリ、12位の講談社、17位の楽天グループなど、学生にとって身近な商材を扱う企業も高い支持を得ています。男女別にみると、文系男子では、10位に三井不動産、14位の三菱地所といった「不動産」が、文系女子では、4位に講談社、12位の集英社などの「出版」が上位にランクインしました。



理系総合 TOP20

1	ソニーグループ	932 pt	11	富士フイルム	308 pt
2	NTTデータ	696 pt	12	三菱重工業	303 pt
3	アクセンチュア	541 pt	13	本田技研工業	301 pt
4	トヨタ自動車	512 pt	14	東京電力ホールディングス	296 pt
5	野村総合研究所(NRI)	484 pt	15	清水建設	291 pt
6	パナソニック	410 pt	16	川崎重工業	280 pt
7	鹿島建設	369 pt	17	旭化成	279 pt
8	日立製作所	366 pt	18	竹中工務店	267 pt
9	JR東海(東海旅客鉄道)	365 pt	19	関西電力	254 pt
10	富士通	310 pt	20	伊藤忠商事	250 pt

【DX推進や社会への貢献性の2軸に支持が集まる】

理系総合のトップは、ソニーグループ。2位にはNTTデータが入りました。8位の日立製作所、10位の富士通も含め、各社事業領域は異なるものの、DX推進といったビジネスイノベーションへの取り組みを強化しており、学生からも「高い技術力を有していると感じる」といった声が多くあがりました。

若手からスキルを磨ける場として支持を集める「コンサル」

3位のアクセンチュア、5位の野村総合研究所、20位のPwCといったコンサル系も支持を集めています。各社の企業サイトには、AIやブロックチェーンといったキーワードが並び、企業のDX化や働き方改革における重要なパートナーとしての存在感の大きさや「若いうちからスキルを磨くことができると感じる」など、学生が自身のキャリア形成を見据えた上で魅力的な場であると感じているようです。

マッチング採用を重視するモノづくり、インフラ系メーカー
一人気も根強い

4位のトヨタ自動車、6位のパナソニック、12位の三菱重工業など、事業のスケール感や幅広い事業領域、社会貢献性の高さが特徴であるモノづくり、インフラ系メーカーへの支持も根強いものがあります。採用手法もマッチングを丁寧に行うアプローチが主体で「やりたい仕事ができるから」「自分の専攻を活かしたい」という学生から人気を集めています。

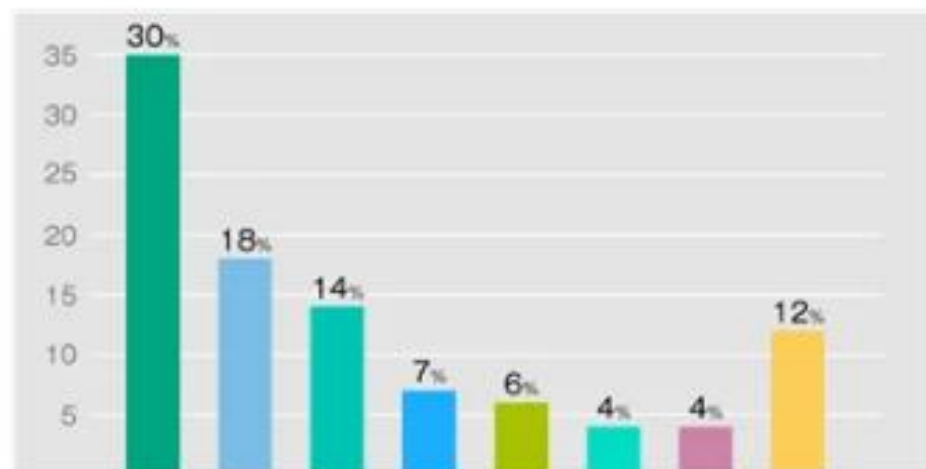
幅広い業界が積極採用。高まる理系人材人気

20位の伊藤忠商事、31位の三井不動産など、従来文系学生から就職希望先としての人気が高い企業も上位にランクインしました。事業幅の拡大により理系人材の獲得を積極的に行っており、「理系にも活躍フィールドがある場」として浸透してきているようです。

男女別ランキングを見ると、理系男子は総合と大きな差がない一方で、理系女子は、1位の資生堂、2位のコーセー、6位の味の素、7位の花王、9位の森永乳業が上位10位に入り、「薬品・化粧品・日用品」や「食品」人気が目立っています。

Q

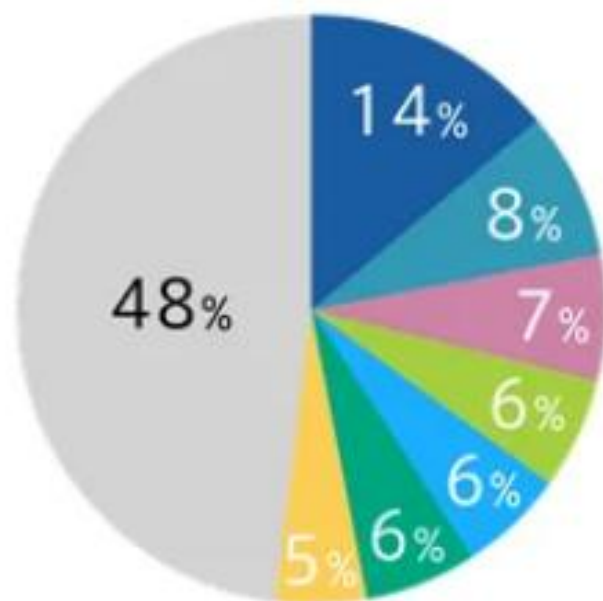
就職活動先の企業を選んだ理由は？



- やりたい仕事ができそう
- 業界上位の企業だから
- インターンシップでの印象がよかったから
- 社会的貢献度が高いと思えるから
- 社風が良いと思えたから
- 将来性がある企業だから
- 業績が安定している企業だから
- その他

Q

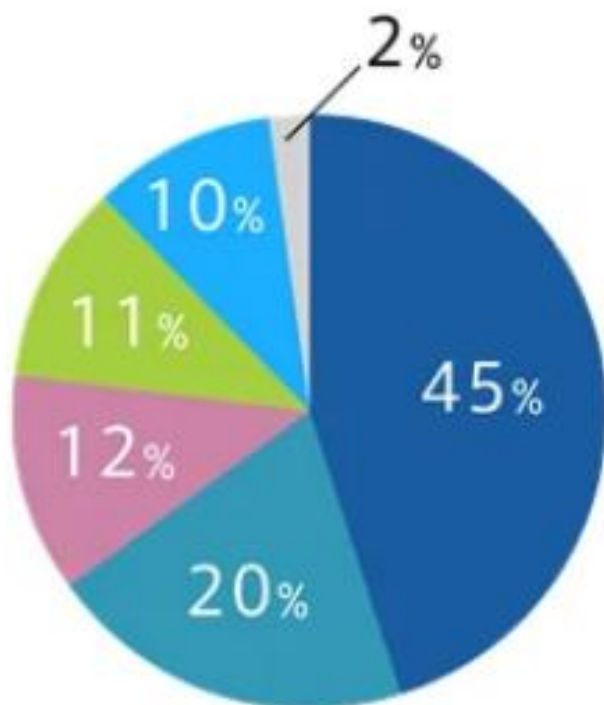
現時点で、最も志望している「業種」は？



- 14% IT・ソフトウェア
- 8% 銀行・証券
- 7% 食品・製菓・飲料
- 6% 商社
- 6% コンサル
- 6% 電気・電子・精密機器
- 5% 薬品・化粧品・日用品
- 48% その他

Q

コロナ禍での就職活動で苦労している点は？



- 45% 社員と対面接触ができず、社風や雰囲気をつかみにくい
- 20% コミュニケーションがとりづらい
- 12% 働く場所のイメージがしにくい
- 11% 企業理解や仕事理解がしにくい
- 10% 選考もオンラインのため自分の力を発揮しづらい
- 2% パンフレット等の資料がもらえない

「マイナビ・日経 2023年卒大学生就職企業人気ランキング」を発表 (2022.04.07.)

【文系総合】

東京海上日動火災保険が2年連続のトップ。2位のソニーグループは前年19位からの大躍進、3位に前年5位のニトリが入った。4位の日本生命保険など「安定」「社会貢献」をキーワードに生保・損保業界が前年に続き多くランクイン。前年コロナの影響を受けたホテル・旅行業界はPlan・Do・Seeが前年41位から12位に、JTBグループが前年35位から19位と大きく順位を上げている。

【理系総合】

文系総合2位のソニーグループが理系総合首位に。2位に味の素、3位が富士通となった。4位のNTTデータ、7位のSkyなど、IT関連需要増とともに情報技術に強みを持つ企業が上位に入った。また8位の三菱重工業は前年43位から大幅にランクを上げた。

文系総合ランキング：上位 10 位

順位	企業名	得票	前年順位
1	東京海上日動火災保険	789	1
2	ソニーグループ	685	19
3	ニトリ	632	5
4	日本生命保険	501	11
5	伊藤忠商事	490	4
6	ソニーミュージックグループ	483	6
7	講談社	468	10
8	損害保険ジャパン（損保ジャパン）	466	8
9	バンダイ	465	7
10	味の素	420	3

理系総合ランキング：上位 10 位

順位	企業名	得票	前年順位
1	ソニーグループ	624	2
2	味の素	303	1
3	富士通	214	8
4	NTTデータ	187	6
5	トヨタ自動車	176	5
6	サントリーグループ	163	3
7	Sky	157	12
8	三菱重工業	153	43
9	カゴメ	149	9
10	キヤノン	147	7

2022年卒大学生就職企業人気ランキング、文系・理系第1位は？

2021/04/09 13:59

マイナビは4月9日、日本経済新聞社と共同で実施した、2022年卒学生を対象とした「マイナビ・日経 2022年卒大学生就職企業人気ランキング」を発表した。

同社は「マイナビ大学生就職企業人気ランキング」を1978年（1979年卒）より毎年実施している。調査対象は2022年3月卒業見込みの全国大学3年生、大学院1年生で、有効回答4万1,093名（文系男子 12,598人、文系女子17,308人、理系男子 6,568人、理系女子 4,619人）。

文系の総合ランキングは、東京海上日動火災保険が1982年(1983年卒)以来のトップ(当時:東京海上火災)となった。第2位以降は、第一生命保険、味の素、伊藤忠商事、ニトリが順にランクインした。コロナの打撃を受けた旅行・航空業界の企業が軒並みランクを下げる一方、巣籠り需要の恩恵を受けた業界(食品・出版・音楽・ゲーム・スーパー)の上昇が目立った。

理系の総合ランキングは、味の素が2016年（2017年卒）以来5年ぶりに首位に立った。第2位以降は、ソニーグループ、サントリーグループ、明治グループ、トヨタ自動車と続いている。食品は上位20社中8社と安定した人気で、自動車関連企業の人気復活もうかがえる。

文系】「2022年卒マイナビ大学生就職企業人気ランキング」上位100社

対象人数 29,906名



順位	企業名	得票	前年 順位	順位 変動	順位	企業名	得票
1	東京海上日動火災保険	1,507	3	+2	51	良品計画	2
2	第一生命保険	1,009	16	+14	52	ロッテ	2
3	味の素	840	8	+5	53	アサヒビール	2
4	伊藤忠商事	793	6	+2	54	三菱商事	2
5	ニトリ	777	9	+4	55	コーセー	2
6	ソニーミュージックグループ	689	10	+4	56	小学館	2
7	バンダイ	634	22	+15	57	みずほフィナンシャルグループ	2
8	損害保険ジャパン(損保ジャパン)	629	17	+9	58	三井不動産	2
9	サントリーグループ	625	12	+3	59	日産自動車	2
10	講談社	611	27	+17	60	キヤノン	2
11	日本生命保険	608	20	+9	61	NTTデータ	1
12	トヨタ自動車	578	14	+2	62	ミズノ	1
13	ファーストリテイリング(ユニクロ・ジーユー・プラステ・セオリー)	543	23	+10	63	KADOKAWA	1
14	ジェーシービー(JCB)	488	24	+10	64	全日本空輸(ANA)	1
15	東日本旅客鉄道(JR東日本)	420	19	+4	65	住友商事	1
16	バンダイナムコエンターテインメント	389	46	+30	66	日清食品	1
17	ポニーキャニオン	378	30	+13	67	大日本印刷(DNP)	1
18	集英社	375	25	+7	68	クスリのアオキ	1
19	ソニーグループ	366	7	-12	69	アクセンチュア	1
20	オリエンタルランド	365	5	-15	70	麒麟ホールディングス	1
21	Sky	355	31	+10	71	ノジマ	1
22	イオングループ	333	86	+64	72	りそなグループ	1
23	資生堂	331	13	-10	73	スズキ	1

2022年卒マイナビ大学生就職企業人気ランキング」上位100社

対象人数 11,187名



企業名	得票	前年 順位	順位 変動	順位	企業名	得票	前年 順位
グループ	496	2	+1	51	アイングループ	95	5
グループ	330	1	-1	51	エムサービスグループ	95	5
グループ	276	4	+1	53	アイリスオーヤマ	94	26
グループ(明治・Meiji Seika ファルマ)	270	9	+5	53	第一三共	94	3
自動車	269	5	±0	55	アサヒビール	92	2
ター	267	6	±0	55	グリーンハウス	92	7
	256	18	+11	57	住友化学	90	6
	214	3	-5	57	VSN	90	7
	211	7	-2	59	ソニーミュージックグループ	89	9
客鉄道(JR東海)	190	13	+3	60	ハウス食品	88	2
客鉄道(JR東日本)	189	12	+1	61	NTTドコモ	87	6
	183	15	+3	62	クボタ	86	11
	176	34	+21	63	清水建設	85	6
	175	25	+11	63	ブルボン	85	9
ー	169	19	+4	65	塩野義製薬	84	11
グループ	167	82	+66	65	マツダ	84	12
	165	8	-9	67	東レ	83	8
ック	161	13	-5	68	川崎重工業	82	7
作所	156	10	-9	68	任天堂	82	5
バン	148	58	+38	70	日清医療食品	81	9
業	147	11	-10	70	日本電気(NEC)	81	9
	146	36	+14	72	SCSK	80	4

マイナビ・日経 2020年卒大学生就職企業 人気ランキング 2019.4.9.

株式会社マイナビ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:中川信行)は、株式会社 日本経済新聞社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:岡田直敏)と共同で、2020年卒学生を対象とした『マイナビ・日経 2020年卒大学生就職企業人気ランキング』を実施しました。文系ランキング(総合・男子・女子)と理系ランキング(総合・男子・女子)の各上位100社を発表します。なお、弊社では、『マイナビ大学生就職企業人気ランキング』を1978年より毎年実施しており、過去の順位等は同調査を参照しています。上位10社(文系総合、理系総合)および概況は以下の通りです。※ 有効回答47,939名(過去最多投票人数)

■文系総合

JTBグループが3年ぶりに首位に返り咲き。2位は前年首位の全日本空輸(ANA)、3位は東京海上日動火災保険。6位の味の素(前年34位)、8位のコナミグループ(前年62位)、9位のソニーミュージックグループ(前年20位)は前年から大きく順位を上げて初のトップ10入り。

■理系総合

ソニーが3年連続で首位。2位も3年連続で味の素。5位の富士通(前年26位)は2007年卒以来13年ぶりのトップ10入り。10位のオムロン(前年18位)は初のトップ10入り。

■文系総合ランキング(上位10位)

順位	企業名	得票	前年順位
1	JTBグループ	1,336	4
2	全日本空輸 (ANA)	1,313	1
3	東京海上日動火 災保険	1,306	3
4	ソニー	1,302	7
5	日本航空(JAL)	1,238	2
6	味の素	775	34
7	伊藤忠商事	749	9
8	コナミグループ	725	62
9	ソニーミュージッ クグループ	723	20
10	アサヒビール	704	16

■理系総合ランキング(上位10位)

順位	企業名	得票	前年順位
1	ソニー	1,102	1
2	味の素	710	2
3	明治グループ (明治・Meiji Seika ファルマ)	482	3
4	カゴメ	352	4
5	富士通	339	26
6	トヨタ自動車	334	9
7	サントリーグ ループ	323	5
8	アサヒビール	321	10
9	森永乳業	318	6
10	オムロン	301	18

【参考資料】平成の就職企業人気ランキングを辿る ～
時代の変遷と共にランキングも変化している。ここでは平成元年から10年ごとに結果を辿ってみたい。

「文系総合」を見ると、平成元年はバブル景気に沸く中、上位30位中「**商社**」が6社、「**銀行・証券**」が9社と高い人気を誇っていた。一方で、平成不況により就職環境が底にあった平成11年は幅広い業界の企業がランクインしている。リーマンショックの影響下にある平成21年は「**航空・鉄道**」や「**食品**」業界に属する企業の順位が上昇した。

「理系総合」の平成元年は上位10位中7社が「**総合電機**」で占められていた。平成11年になるとインターネットの普及に伴い、「**通信**」や「**ソフトウェア**」の企業が上位に名を連ねている。平成21年では、上位30位中6社を「**食品**」が占め、現在も根強い人気を誇っている。

「2017年卒マイナビ大学生就職企業人気ランキング」 調査結果を発表 2016年05月12日

3万人超が回答。文系は**JTBグループ**が9年連続首位。理系は**味の素**が6年ぶりトップ。調査開始以来初となる「本社所在地域別ランキング」も同時発表。

株式会社マイナビは、1978年以来毎年実施している「マイナビ大学生就職企業人気ランキング」の2017年卒業予定者対象の、文系ランキング(総合・男子・女子)と理系ランキング(総合・男子・女子)の各上位100社を発表します。有効回答数は今回初めて3万人を超え(33,630名)、過去最多となりました。また、今回初めて本社所在地域別のランキングを集計し、合わせて発表します。上位10社(文系総合、理系総合)および概況は以下の通りです。

■文系総合

JTBグループが9年連続トップに。文系トップ100では、生保、損保、証券、音楽、航空関連の企業などが上昇。

■理系総合

味の素が2011年卒調査以来6年ぶりのトップに返り咲いた。理系トップ100では、建設、住宅、ソフトウェア、給食サービス、調剤薬局チェーンなどが上昇。

■本社所在地域別

関西は積水ハウス、九州・沖縄は九州旅客鉄道(JR九州)がトップとなった。また、北海道は菓子メーカー、東北は地銀、

東海・北陸は自動車関連やトヨタグループ、中国・四国は食品メーカーのランクインが目立った。

文系総合ランキング: 上位 10 位

順位	企業名	得票	前年順位
1	JTBグループ	1,415	1
2	全日本空輸(ANA)	1,104	3
3	エイチ・アイ・エス(HIS)	1,088	2
4	日本航空(JAL)	1,042	4
5	三菱東京UFJ銀行	825	5
6	東京海上日動火災保険	817	10
7	三井住友銀行	781	7
8	電通	742	6
9	博報堂/ 博報堂DYメディアパートナーズ	661	9
10	みずほフィナンシャルグループ	658	8

理系総合ランキング: 上位 10 位

順位	企業名	得票	前年順位
1	味の素	343	2
2	東日本旅客鉄道(JR東日本)	310	6
3	資生堂	308	5
4	トヨタ自動車	299	1
5	サントリーホールディングス	283	7
6	カゴメ	262	3
7	明治グループ(明治・Meiji Seika ファルマ)	260	3
8	NTTデータ	248	16
9	山崎製パン	236	31
10	ソニー	235	36

2015 年卒マイナビ大学生就職企業人気 ランキング調査結果発表

(2014年3月27日)

調査回答数19,228 件にて2015年3月大学・大学院卒業予定者の調査結果がまとまりました。

- 文系総合 JTBグループが7 年連続トップ。旅行・空輸・広告が各2 社ずつで上位を占める
- 理系総合 カゴメが初のトップ。2 位のトヨタ自動車は6 年ぶりのトップ3 返り咲き
- 文系トップ100 飲料メーカー、ゲーム関連業、ブライダル業界の上昇が目立つ
- 理系トップ100 ゼネコンの上昇が目进行く。飲料メーカー、薬品メーカーも上昇
- 理系院生ランキング トヨタ自動車がトップ。日立製作所、東芝と続き、トップ3 総入れ替え

＜採用・就職市場の概況＞

■ 2年連続の内定率の上昇などを受けて、大手志向、安定志向が、ともに増加傾向

2015年卒の新卒採用は、次年度に政府要請による採用スケジュールの変更を控えているため、3年続いた12月採用広報開始・4月選考開始の最終年となる。前々年度、前年度と内定率が上昇傾向だったことや、景況感の改善を伝える報道の影響からか、「2015年卒マイナビ大学生就職意識調査」では2年連続で「大手志向」がやや増加した。

企業人気ランキングの選社理由では、前年同様「やりたい仕事ができる*1」が最も票を集めたが、文系では前年度に続いてやや割合が下がった（理系はほぼ横ばい）。一方「安定している*2」は文理とも前年に続いて上昇し、安定志向が強まっているようだ。また「業界上位である*3」は文系では増加、理系では減少という対照的な結果となった。その他、文理とも増加したのは「将来性がある*4」で、逆に文理とも減少したのは「社会的貢献度が高い*5」だった。

このような状況のもと、文系のランキングでは「JTBグループ」が7年連続のトップ（文系男子・文系女子ともにトップ）、理系のランキングでは「カゴメ」が前々年の3位、前年の2位からひとつずつ順位を上げて初のトップとなった。「カゴメ」は理系女子でも前年に続いてトップとなったが、理系男子、理系院生では「トヨタ自動車」がそれぞれ前年より順位を上げてトップを獲得した。

＜文系ランキングの概況＞

■ JTBグループが7年連続トップ。旅行・空輸・広告が各2社ずつで上位を占める

「JTBグループ」が7年連続のトップとなった。文系女子でも同じく7年連続のトップ、さらに文系男子でも2年ぶりにトップに返り咲いた。

2位は4年連続で「ANA(全日本空輸)」が入った。前年同様2位だった文系女子に加え、文系男子でも13位から6位と大きく上昇した。「客室乗務員の採用数を過去最多にする」という報道も注目を集めたものと思われる。

3位も前年と同じ「エイチ・アイ・エス(H.I.S.)」で、トップ3は前年とまったく同じとなった。文系男子では前年の24位から4位と大きく順位を上げた。

4位には前年の8位から上昇した「JAL(日本航空)」がランクイン。2010年卒の5位以来のトップ5入りとなった。文系女子でも4位、文系男子では大きく順位を上げて30位に入った。「訪日外国人旅行者が1000万人を突破した」ことなどが追い風となり(2013年、日本政府観光局の統計)、上位4社を旅行・観光関連業が占める結果となった。

5位には「電通」が、続く6位には前年の14位から上昇した「博報堂／博報堂DYメディアパートナーズ」がランクインし、広告業界大手が続いた。

7位には「三菱東京UFJ銀行」、9位には「東京海上日動火災保険」が入り、トップ10内の金融業は前年同様2社となった。

文系トップ100内で上昇した企業が目立つ業界としては、飲料メーカー、ゲーム関連業、ブライダル業界が挙げられる。金融もおおむね上昇傾向で、銀行・証券では8社中6社が順位を上げた。

＜理系ランキングの概況＞

■ **カゴメ**が初のトップ。2位のトヨタ自動車は6年ぶりのトップ3返り咲き「カゴメ」が前々年の3位、前年の2位からトップに登りつめた。2007年卒から9年連続トップ10入りの末、ついに1位獲得となった。理系女子でも2年連続のトップとなっている。学科系統別の「数・物・農・その他系」でも前年に引き続きトップだった。

2位は前年の7位からランクアップした「**トヨタ自動車**」。2009年卒の1位以来、6年ぶりのトップ3返り咲きとなった。理系男子、理系院生ではトップとなっている。輸出増やハイブリッド車の普及など好材料がそろう自動車業界を牽引する存在として、就活生の注目度も高まったようだ。

3位は前年6位から上昇の「**味の素**」で、3年ぶりのトップ3入りとなった。理系女子で3位、理系院生で7位、「数・物・農・その他系」で2位、「化学・薬学系」で9位と、幅広く票を集めている。

4位は「JR東日本(東日本旅客鉄道)」。

選社理由では「安定している」が28.8%と、トップ50位内で最も高く、理系の安定志向の票を集める形となったようだ。5位は前年と同じく「明治グループ(明治・Meiji Seika ファルマ)」。

4年連続のトップ5入りで、安定した人気となっている。

6位には8位から順位を上げた「三菱重工業」、7位には9位から順位を上げた「東芝」が入った。「三菱重工業」は「機械・電気・情報系」で前年4位から上昇しトップとなった。8位の「旭化成グループ」は「化学・薬学系」で前年に引き続きトップだった。トップ10に新たにランクインしたのは10位の「一条工務店」1社で、前年の14位から初のトップ10入りとなった。「土木・建築系」でも前年に引き続きトップとなっている。

理系のトップ100では、ゼネコン5社がいずれもランクアップしているのが目を引く。アベノミクスによる「大規模な公共投資」の効果が早くも表われた形となった。前年同様、業界別で最も多くの企業がランクインしている食品業界では、文系でも上昇が見られた飲料メーカーが理系でも上昇している。また、薬品業界も上昇する企業が多く見られた。

＜理系院生ランキングの概況＞

■ トヨタ自動車がトップ。日立製作所、東芝と続き、トップ3総入れ替え
今年度で2年目となった理系大学院生の企業人気ランキングは、研究職志向をより強く反映したランキングになっている。

トップは「トヨタ自動車」で、主に「機械・電気・情報系」の大学院生から票を集め、前年6位から上昇した。選社理由では「技術力が高い」(21.3%)と「業界上位である」(20.4%)がともに2割を超え、「安定している」(15.2%)も高い割合となっている。

2位は「日立製作所」で前年7位から上昇。「機械・電気・情報系」の大学院生の票を最も多く集めた。また理系全体の得票のうち大学院生からの票は64.1%で、非常に高い割合となっている(理系の全投票のうち、大学院生の票は28.4%)。

3位は前年7位の「東芝」で、ここまでのトップ3は前年から総入れ替えとなった。「機械・電気・情報系」の大学院生だけでなく、「数・物・農・その他系」の大学院生からも多くの票を獲得している。選社理由の最多は「技術力が高い」(28.8%)だった。

4位は「三菱重工業」。選社理由の「技術力が高い」は34.3%で、トップ20内で最も高い値だった。

5位は「三菱電機」。理系学生の得票のうち大学院生が占める割合は62.3%と6割を超えている。

「化学・薬学系」の大学院生の票を最も集めた「旭化成グループ」は6位。「数・物・農・その他系」の大学院生の票を最も集めた「カゴメ」は9位となった。

2014 年卒マイナビ大学生就職企業人気ランキング調査結果発表 (2013年3月28日, 株式会社マイナビ) 2014 年3月大学卒業予定者の調査結果

- 文系総合 JTBグループ6年連続トップ。経営再建を果たしたJAL(日本航空)が8位。
- 理系総合 JR東日本(東日本旅客鉄道)が初のトップ。
- 文系トップ100 銀行・証券、生保・損保、建築・住宅、鉄道・航空の上昇が目立つ
- 理系トップ100 前年同様食品が強い、鉄道・航空、繊維・化学・薬品・化粧品が上昇
- 理系院生ランキング 旭化成グループがトップ、三菱電機、JR 東海(東海旅客鉄道)がつづく

文系総合ランキング

- 1 JTBグループ775 1
- 2 ANA(全日本空輸) 520 2
- 3 エイチ・アイ・エス441 6
- 4 電通414 4
- 5 三菱東京UFJ銀行410 5
- 6 オリエンタルランド408 3
- 7 JR東日本(東日本旅客鉄道) 363 10
- 8 JAL(日本航空) 341 -
- 9 Plan・Do・See 333 18
- 10 東京海上日動火災保険332 20

理系総合ランキング:上位10社

- 1 JR東日本(東日本旅客鉄道)
- 2 カゴメ
- 3 旭化成グループ
- 4 資生堂
- 5 明治グループ(明治・Meiji Seika ファルマ)
- 6 味の素
- 7 トヨタ自動車
- 8 三菱重工業
- 9 東芝
- 10 NTTデータ

沖縄の学生に人気の就職志望先ランキング 3位はサンエー 2位は琉球銀行 1位は？

2021年3月16日 沖縄タイムスプラス
求人誌「ルーキー」を発行するラジカル沖縄は15日までに、2022年新規学卒者就職志望ランキングを公表した。1位は**沖縄銀行**で、2位は**琉球銀行**、3位は県内流通最大手の**サンエー**と続いた。沖銀と琉銀は、男女別に見ても1位、2位と高い支持を集めた。志望の上位理由としては「職場に活気があり、雰囲気が良い」「安定性・将来性がある」が多く挙げられた。

	順位	前回 順位	企業名
2022年新規学卒者 就職希望ランキング	1	1	沖縄銀行
	2	4	琉球銀行
	3	2	サンエー
	4	6	琉球光和
	4	7	光貴
	6	22	ビーンズラボ
	7	12	沖縄海邦銀行
	8	5	大同火災海上保険
	9	17	金秀グループ
	10	30	琉球セメント
	11	76	日本テクノ
	12	20	りゅうせきフロントライン
	13	17	沖縄電力
	14	21	AIG損害保険
	15	16	沖縄テレビ
	16	23	近代美術
	17	23	エッカ石油
	17	76	ジーマ
	19	11	沖縄ワタベウェディング
	19	21	イオン琉球

同社は上位10社への希望理由から「説明会で人事担当者や若手社員と会話することで職場の雰囲気や活気を感じ取り、働きやすさやスキルアップできる環境を重視する傾向」と分析する。

3月5日に宜野湾市の沖縄コンベンションセンターで開かれた「ルーキーナビ2022」合同企業説明会でアンケートを配布し調査した。有効回答人数は214人。

新型コロナウイルスの影響で、3月の就職活動解禁前から企業インターンや業界イベントのオンライン化が進んでいる。

同社は「コロナで採用人数を減らしている企業もある。第2の就職氷河期が来る可能性もある」とし、楽観視せず早めの準備を呼び掛けた。

沖縄の就職希望ランキング、1位は6年連続で ... 学生の安定志向を反映

沖縄タイムスプラス 2018年3月15日
求人誌「ルーキー」を発行するラジカル沖縄は14日、2019年新規学卒者就職希望ランキングを公表した。1位は県内流通最大手のサンエーで、2位は沖縄セルラー電話、3位はJAおきなわ、4位が沖縄電力、5位が沖縄銀行と続いた。サンエーは男女ともに志望があり、6年連続でトップとなった。JAは、安定性に加え、新社屋完成のイメージ効果もあり、前回の18位から躍進した。

上位企業の志望理由に「安定性・将来性がある」と回答した学生が多く、安定志向の強さがうかがえた。「仕事を通じてスキルアップできる」「職場に活気があり雰囲気が良い」「企業のイメージが良い」なども選ばれた。

一昨年に3社が経営統合してできた**JALスカイエアポート沖縄**は、JALグループのネームバリューと分散していた票が集まり、15位に入った。**沖縄コカ・コーラボトリング**は前回の35位から10位にランクイン。ラジカル沖縄主催の合同企業説明会で今期初の参加となり、学生との接点が増え企業PRにつながったとみられる。

男女別でみると男性はIT業界に人気があり、女性は航空業界、ブライダル業界が上位に入った。

調査はラジカル沖縄が12日、沖縄コンベンションセンターでの合同企業説明会で実施。学生425人から回答を得た。

2020年新規学卒者就職志望ランキング

順位	前回 順位	企業名
1	5	沖縄銀行
2	1	サンエー
3	3	J Aおきなわ(沖縄県農業協同組合)
4	6	琉球銀行
5	8	大同火災海上保険
6	8	琉球光和
7	23	光貴
8	7	ANA沖縄空港
9	2	沖縄セルラー電話
9	19	日本トランスオーシャン航空(JTA)
11	12	沖縄ワタベウェディング
12	12	沖縄海邦銀行
13	15	JALスカイエアポート沖縄
13	34	全保連
13	38	大米建設
16	28	沖縄テレビ放送
17	4	沖縄電力
17	10	沖縄コカ・コーラボトリング
17	17	金秀グループ
20	31	りゅうせき商事

沖縄の就職人気ランキング

サンエー5年連続1位 2017年3月14日

求人誌「ルーキー」を発行するラジカル沖縄は13日、2018年新規学卒者就職志望ランキングを公表した。県内流通最大手のサンエーが5年連続で1位、2位は沖縄銀行、3位は琉球銀行、4位は沖縄海邦銀行、5位は沖縄セルラー電話で、上位5社は昨年と同じ結果だった。同社は10日、沖縄コンベンションセンターで合同企業説明会を開き、学生514人の回答を集計した。

2018年新規学卒者就職志望ランキング

順位	前回 順位	企 業 名
1	1	サンエー
2	2	沖縄銀行
3	3	琉球銀行
4	4	沖縄海邦銀行
5	5	沖縄セルラー電話
6	8	大同火災海上保険
7	6	琉球光和
8	40	A N A 沖縄空港
9	10	沖縄フタベウエディング
10	9	イオン琉球
11	12	光貴
12	15	オキジム
13	13	日本郵便(日本郵政グループ)
14	11	オリオンビール
15	16	沖縄電力
16	18	コザ信用金庫
16	21	金秀グループ
18	7	JAおきなわ
18	32	沖縄ソーリスト
20	18	りゅうせき商事
20	22	オリックス・ビジネスセンター沖縄

学生が挙げた志望理由は、上位9社とも「職場に活気があり雰囲気が良い」が一番多く、「安定性・将来性がある」「仕事を通じてスキルアップできる」などが続いた。

16年4月にエアー沖縄とグランドシステム沖縄が経営統合したANA沖縄空港は昨年の40位から8位へ順位を上げた。ANAの知名度が順位アップにつながったとみられるという。9位に入った沖縄ワタベウェディングは、女性の間で沖縄銀行と同じ2位で高い支持を得た。

ラジカル沖縄は「学生にとっての売り手市場がここ数年続く中、インターンを積極的に受け入れる企業が増えている。結果的に『職場に活気があり雰囲気が良い』が志望理由に多く上がった」と分析している。

就職希望企業ランキング2014

(2013年3月10日発表)

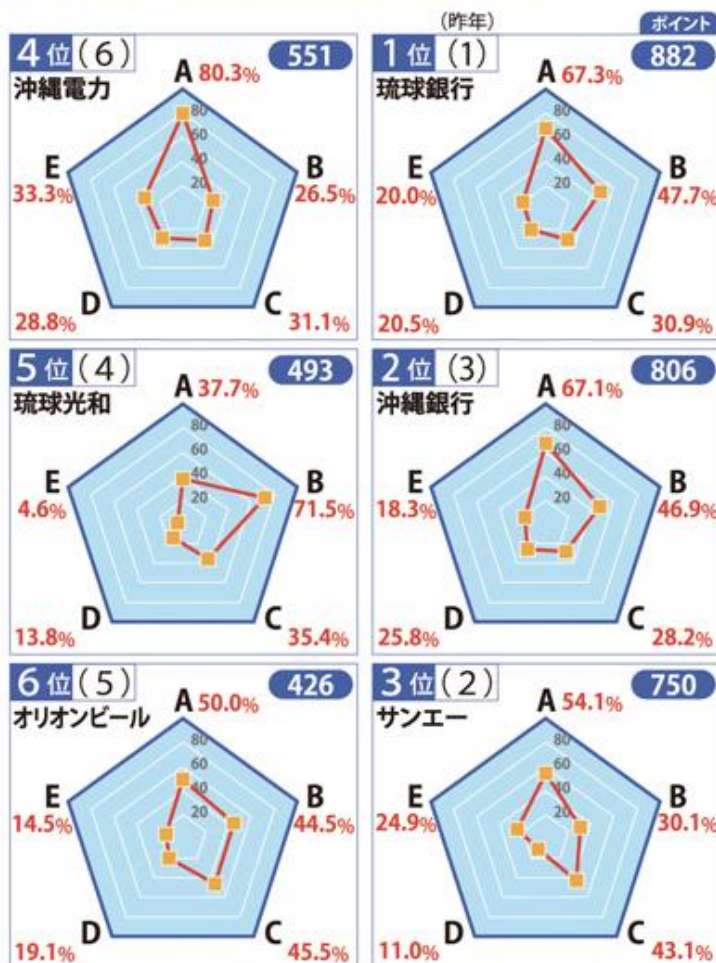
沖縄タイムス 就職ナビ

就職希望企業・意識調査アンケート

沖縄タイムス社では、株式会社エフシーの協力のもと、「就職人気企業・意識調査アンケート」を毎年実施しています。
この度、2014年3月卒業予定者の調査結果がまとまりました！
(写真は、2013年1月16日に開催された「タイムス就職フォーラムMEGA」の様子)

対象：大学・大学院・短大・専門学校2014年3月卒業予定者、
卒業後3年以内で就職活動継続中の方。
調査時期：2012年11月30日～2013年2月27日
調査方法：沖縄タイムス就職イベント会場にてアンケートを配布。
有効回答数：1071
*就職希望企業名を第1希望～第5希望まで調査。順位をポイントに換算。
第1位：5P、第2位：4P、第3位：3P、第4位：2P、第5位：1P

学生が選ぶ就職希望企業総合ランキング



A・信頼・安定性がある
B・社内の雰囲気が良さそう
C・やりたい仕事ができそう

D・待遇が良い
E・規模が大きい

順位	昨年	企業名	ポイント
7	26	トランスコスモスシー・アール・エム沖縄	425
8	18	沖縄セルラー電話	291
9	9	プロトデータセンター	284
10	7	沖縄ツーリスト	277
11	12	沖縄タイムス社	232
12	14	光貴	228
13	43	沖縄製粉	215
14	23	大同火災海上保険	213
15	8	琉薬	206
16	-	J Aおきなわ	194
17	-	シーエー・アドバンス	192
18	31	トヨタカローラ沖縄	176
19	17	クオリサイトテクノロジーズ	174
20	9	ザ・テラスホテルズ	173
21	47	日本トランスオーシャン航空 (JTA)	172
22	15	沖縄海邦銀行	162
23	11	琉球放送	142
24	35	イオン琉球	132
25	16	前田産業ホテルズ	128
26	13	りゅうせきネットワーク会議	124
27	34	JTB 沖縄	122
28	28	ダイコー沖縄	120
29	54	沖縄ホンダ	117
30	25	沖縄トヨタ自動車	102
31	19	スカイホールディングス	96
32	-	エイチ・アイ・エス	86
33	46	沖縄県労働金庫	71
34	30	リウボウインダストリー	65
35	65	シティグループ	63
35	-	全保連	63
37	21	琉球 Software	55
38	-	沖縄クロス・ヘッド	45

就職希望企業 男女別ランキング

男子ランキング

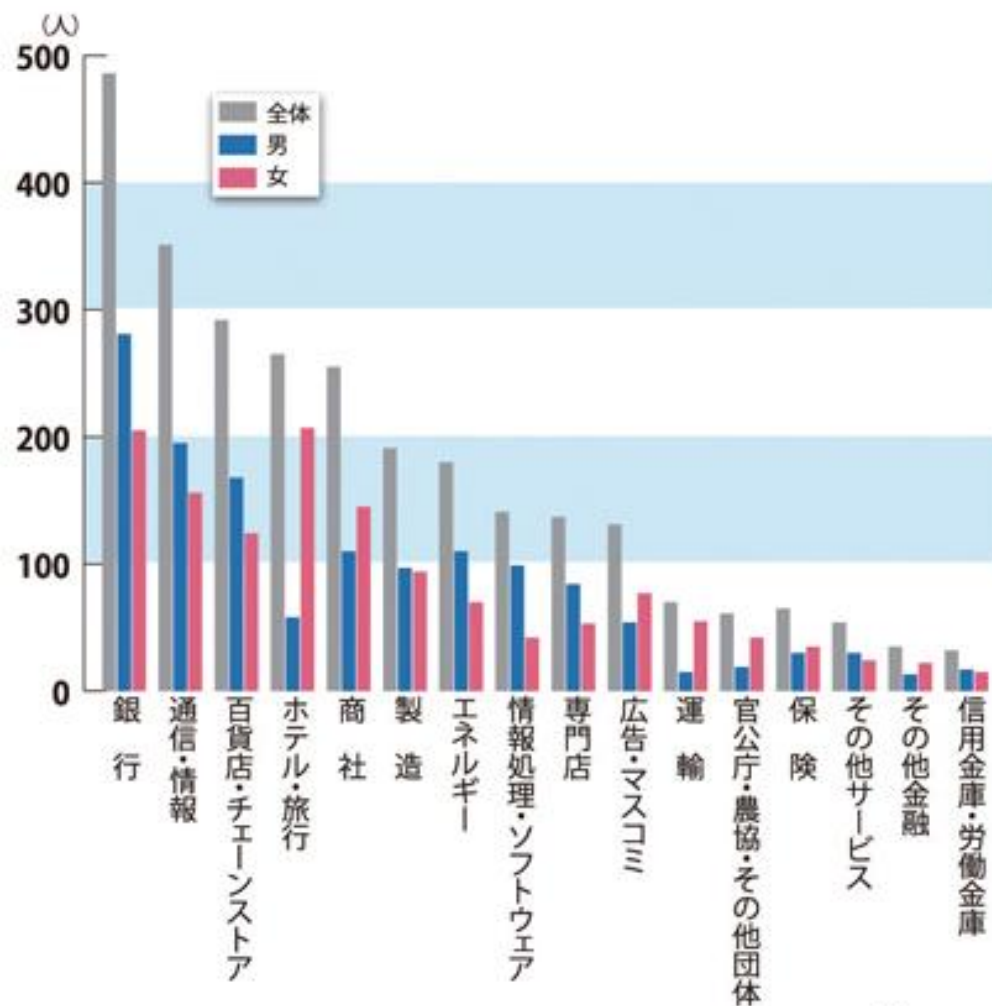
順位	企業名
1	琉球銀行
2	沖縄銀行
2	サンエー
4	沖縄電力
5	オリオンビール
6	トランスコスモスシー・アール・エム沖縄
7	琉球光和
8	沖縄セルラー電話
9	プロトデータセンター
10	シーエー・アドバンス
11	琉薬
12	クオリサイトテクノロジーズ
13	光貴
14	沖縄タイムス社
15	トヨタカローラ沖縄
16	沖縄製粉
16	大同火災海上保険
18	沖縄海邦銀行
19	イオン琉球
20	沖縄トヨタ自動車
21	沖縄ホンダ
22	りゅうせきネットワーク会議
23	琉球放送
24	沖縄ツーリスト

女子ランキング

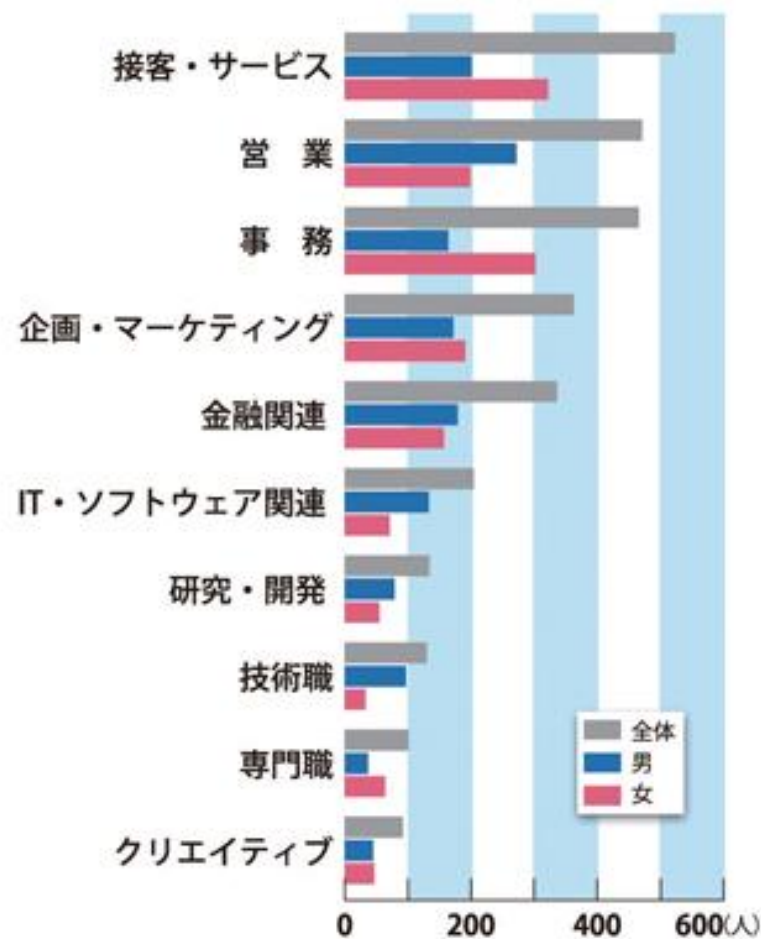
順位	企業名
1	琉球銀行
2	沖縄銀行
3	サンエー
3	琉球光和
5	沖縄ツーリスト
6	トランスコスモスシー・アール・エム沖縄
7	オリオンビール
8	沖縄電力
9	J A おきなわ
10	沖縄タイムス社
11	ザ・テラスホテルズ
12	日本トランスオーシャン航空 (JTA)
12	大同火災海上保険
14	光貴
15	沖縄製粉
16	沖縄セルラー電話
17	JTB 沖縄
18	プロトデータセンター
19	琉薬
20	ダイコー沖縄
20	前田産業ホテルズ
22	トヨタカローラ沖縄
23	琉球放送
24	沖縄海邦銀行



希望業種ランキング（複数回答）



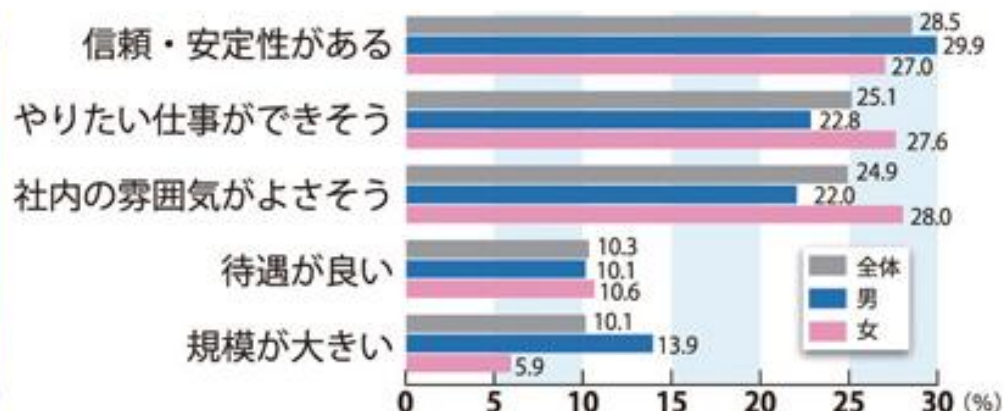
希望職種ランキング（複数回答）



業 種	全 体	男	女
銀行	486	281	205
通信・情報	351	195	156
百貨店・チェーンストア	292	168	124
ホテル・旅行	265	58	207
商社	255	110	145
製造	191	97	94
エネルギー	180	110	70
情報処理・ソフトウェア	141	99	42
専門店	137	84	53
広告・マスコミ	131	54	77
運輸	70	15	55
官公庁・農協・その他団体	61	19	42
保険	65	30	35
その他サービス	54	30	24
その他金融	35	13	22
信用金庫・労働金庫	32	17	15

職 種	全 体	男	女
接客・サービス	523	201	322
営業	471	272	199
事務	466	164	302
企画・マーケティング	363	172	191
金融関連	336	179	157
IT・ソフトウェア関連	204	133	71
研究・開発	134	79	55
技術職	130	97	33
専門職	101	37	64
クリエイティブ	92	45	47

就職先希望理由



JTBが首位、日本郵政4位＝大学生の就職志望－リクルート調査

2010年4月7日(水)20:03 [時事通信社]

リクルートは7日、来春卒業予定の大学生の就職志望ランキングを発表した。それによると、JTBグループが女性の高い支持を集めて首位となり、不況に強いとされる鉄道のJR東海、JR東日本が2、3位と前年同様に上位を占めた。4位には日本郵政グループが入った。

JTBは前年まで地域会社ごと、日本郵政は事業会社ごとの集計だったが、今回からグループ全体で取りまとめた結果、トップ10に顔を出した。また、全日空の5位に対し、前年14位で経営再建中の日本航空は上位100位から名前が消えた。オリエンタルランドが6位と初めて10位内に入り、バンダイも8位となるなど娯楽関連企業が躍進したのも今回の特徴だ。リクルートは「レジャー産業全体の社会的地位が向上している」と分析している。調査は2月に実施、1万5346人から回答を得た。このほか、ソニーは前年の29位から77位に急落。リコール問題に揺れるトヨタは82位だった。

文系は「JTBグループ」、理系は「ソニー」が首位、マイコミ「大学生就職人気企業ランキング」2009年3月13日（日経BPネット）

毎日コミュニケーションズ（本社：東京都千代田区）が2009年3月12日発表した2010年卒業予定者「大学生就職人気企業ランキング」によると、文系ランキング総合1位は**JTBグループ**が2年連続で首位、理系ランキング総合1位は**ソニー**が6年ぶりに首位に返り咲いた。文系トップ5が前年と変わらないが、理系はトップ10全てで順位が変動した。

深刻な不況によって、2010年卒の新卒採用市場は数年続いた売手市場から買手市場に大きく様相が変わりそうという。採用数は減少傾向で、例年より採用予定人数の決定時期も遅れている。「自分たちの就職は厳しくなるだろう」と考える学生は、昨年の1割強から約9割に激増。1人当たりのエントリー社数や企業セミナーに参加する割合も増えた。一方で「企業を見極めよう」とする姿勢も強まり、企業選択のポイントでは安定要素の比率が高まっている。

文系総合ベスト5は、JTBグループ、資生堂、ANA(全日本空輸)、三菱東京UFJ銀行、JAL(日本航空)。5位までのランキングは昨年と同じで、景気に左右されない上位企業群の人气が鮮明になった。選社理由は「業界上位」「安定している」「やりたい仕事ができそう」など。とくにJTBグループは業界トップの実績に加え、地域別・事業別にグループ各社が募集を行うため仕事内容が明確で、「やりたい仕事ができそう」という選社理由の高さにつながっている。

トップ100位では、好業績の波に乗る7位のオリエンタルランド(昨年10位)や、旅行会社などサービス各社の伸びが目立った。このほか8位にランクアップしたJR東日本(同19位)などの鉄道、エネルギー、食品業界の躍進がめざましい。男子1位は三菱東京UFJ銀行(3年連続)、女子1位はJTBグループ(2年連続)だった。

理系総合ベスト5は、ソニー(昨年3位)、パナソニック(同8位)、資生堂(同2位)、サントリー(同7位)、味の素(同11位)。前年1位のトヨタ自動車は7位に落ちた。ソニーは学生にとって身近で強力なブランド力や、規格競争を制したブルーレイディスクなどの自主規格への強いこだわりと最先端の技術開発に挑む社風が「技術力が高い」「実力主義・能力主義である」といった選社理由につながった。

トップ100位までをみると、文系総合と同じく、鉄道・エネルギー各社や食品各社が躍進。理系総合独自の特徴としては、8位にランクアップした「旭化成グループ」に代表される化学業界が6社そろって前年を上回り、薬品業界も9社中5社がランクアップしている。男子1位はソニー(6年ぶり)、女子1位は資生堂(15年連続)だった。文系・理系の総合・男子・女子各上位100社はWebで閲覧できる。有効回答数は2万2077人。(平城 奈緒里=Infostand)

http://job.mynavi.jp/conts/saponet/enq_gakusei/ranking/2009rank/index.html

「みずほ」など金融機関が就職人気、採用増で大学生

2007年4月12日(木) 読売新聞

リクルートが12日発表した来春卒業予定の大学生の就職志望ランキングで、金融機関が人気を集めた。金融機関の多くは採用数を増やしており、リクルートは「門戸が広がったと感じた学生の支持を集めた」と分析している。

今回から傘下金融機関の合計数で発表するように集計方法が変更されたみずほフィナンシャルグループ(FG)がトップに立ったほかにも、三菱東京UFJ銀行が3位(前年6位)、三井住友銀行が12位(同13位)、野村証券16位(同39位)などと軒並み順位を上げた。

電機・家電メーカーも、松下電器産業10位(同27位)、キヤノン18位(同41位)、シャープ30位(同81位)などと人気が回復した企業が多い。

来春卒の就職内定率、早くも34% リクルート調査

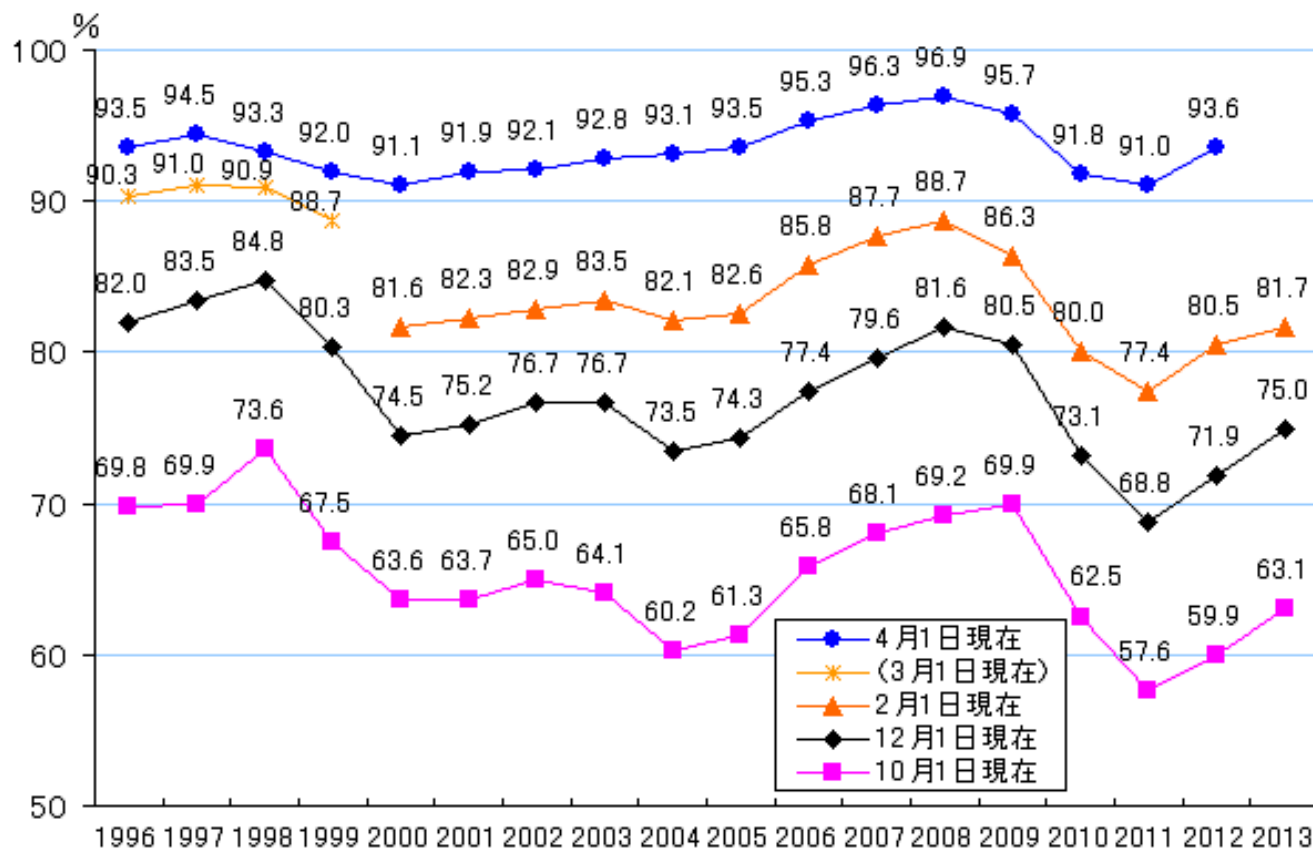
朝日新聞 2008年04月18日

09年春卒業予定の大学生のうち34.0%が、今月5日までに内定(内々定)を得ていることが18日、リクルートが初めて発表した就職活動動向調査でわかった。内定率は文系の29.6%に対し理系が44.9%に達しており、理系学生の採用活動が活発さをみせている。

ただ、その企業に入社したい意思があるのは文系で16.4%、理系で25.7%にとどまる。売り手市場が続く中、学生らはもっと合う企業への就職を目指し、就職活動を続けているようだ。

調査は1～5日、関東、東海、関西の大学生を対象にインターネット上で実施し、1346人から回答を得た。

就職(内定)率の推移(大学)



表示年3月卒

(注) 内定率とは、就職希望者に占める内定取得者の割合。各大学等において、所定の調査対象学生を抽出した後、電話・面接等の方法により、性別、就職希望の有無、内定状況等につき調査。全国の大学、短期大学、高等専門学校、専修学校の中から、設置者・地域の別等を考慮して抽出した112校についての調査。調査校の内訳は、国立大学21校、公立大学3校、私立大学38校、短期大学20校、高等専門学校10校、専修学校20校。調査対象人員は、6,250人(大学、短期大学、高等専門学校併せて5,690人、専修学校560人)。(以上2012年の数字)。

(資料) 厚生労働省・文部科学省「大学等卒業予定者の就職内定状況調査」

内定率86%で最高 高校生就職07年3月末

琉球新報(2007年4月28日)

県教育委員会は27日、ことし3月に卒業した県立高校生の就職内定率は同月末現在で86・4%(内定者2849人)に達したと発表した。昨年同期の84・1%(2805人)を2・3ポイント(44人)上回った。**1992年以降、最も高い内定率**となった。

卒業者数1万5330人のうち就職希望者は21・5%に当たる3297人。

県外就職希望者の内定率は93・2%(1144人)、県内希望者は82・4%(1705人)だった。内定率を男女別にみると、男子が89・4%(1603人)、女子は82・9%(1246人)となった。

県教育委員会は就職内定率向上の要因を「県内でのインターンシップ、県外企業職場実習の実施、ジョブアドバイザーの配置、県外求人開拓・定着指導などの成果が出た」と分析している。

県内高校生就職内定率、過去最低の15・3%/文科省調査 琉球新報 2002年12月18日

来春卒業予定で就職を希望する高校生の10月末時点での調査で、**県内の内定率が過去最低の前年を1ポイント下回る15・3%となり、全国でも最低となった**ことが17日、文部科学省の調査により分かった。

県内の高校卒業予定者は1万6652人で、就職希望者は3465人。そのうち内定者は529人で、県内224人、県外305人となっている。県教育委員会では「県外求人数の半減、根強い県内志向、高卒者が就職していた仕事に専門学校や大学、短大生がシフトした」などを原因として挙げている。

県教委によると県内希望者は2480人(71・6%)、県外希望が985人(28・4%)。9月末の求人数は県内が前年の424件に対し311件で73%、県外が前年の1294件に対し719件と55%と半減している。

県教委は「各学校が地域の企業に求人開拓することにより、まだ掘り起こしが可能」と話し、校長や就職担当者が直接企業に出向き再度求人を要請するよう求めている。

全国の内定率も47・1%で、1976年以来最低だった昨年同期を3・6ポイント下回った。就職先未定の生徒は約12万8000人に上っている。

男女別では、男子49・7%、女子は44・1%。昨年同期比で男子は4・1ポイント、女子は3・1ポイントそれぞれ下回った。

国公立の高校で来春卒業予定の約129万人のうち就職希望者は約24万2000人。うち内定者は約11万4000人にとどまっている。

内定率が高い都道府県は岐阜70・4%、三重67・9%、愛知67・2%-など。低いのは沖縄に次いで北海道25・1%、宮城28・1%、高知32・2%、福岡33・2%となっている。

現代の職業と教育

■ 職業指導論 ■

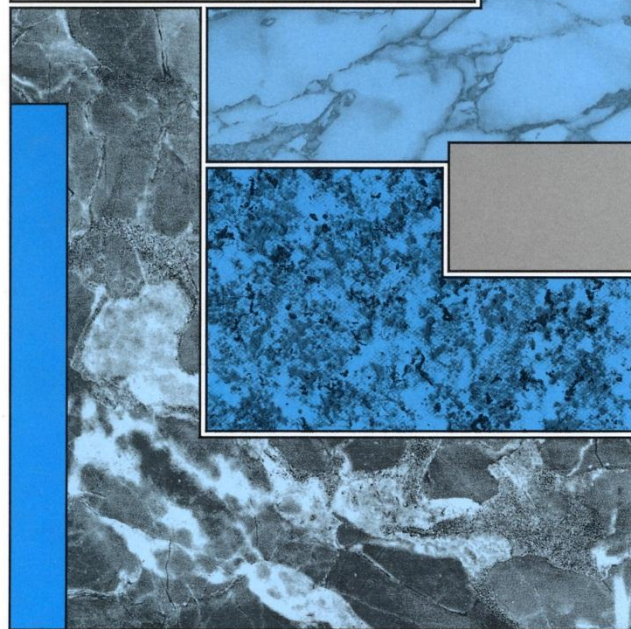
有本 章・近藤大生 編



現代の職業と教育

■ 職業指導論 ■

有本 章・近藤大生 編



福村出版

「職業指導」の講義内容

- 1章 職業と教育（職業指導の視点）
- 2章 職業指導の理論と歴史
- 3章 産業社会の職業構造
- 4章 職業的選抜と能力主義
- 5章 学歴社会の職業的社会化
- 6章 職業指導の方法・技術
- 7章 学校における職業指導の実際
- 8章 諸外国の職業教育の現状と課題
- 9章 生涯教育のなかの職業と教育
- 10章 職業指導の課題と展望

1章 職業と教育（職業指導の視点）

1-1 職業の重要性

1-1-1 職業の意味

ラインハルト(Reinhart,B., 1979):

- ①個人の経済的目標の達成に寄与する。
- ②生計を得るだけではなく、自分にとって「**自己実現**」を可能にし、生きがいを得ることができる。
職業的社会化により、「**自己同一性**(self identity)」や「**自己評価**(self-esteem)」を獲得する。
- ③職業は個人の行動様式を規定する。
- ④社会的相互作用の仕方を規定する。

1-1-2 職業と教育の関係

農業主導の時代には、
社会教育や徒弟教育が主であった。

産業社会では、職業分化が進行し、「専門職化」が進行するため、従来の「見よう見まね」式の教育では追いつかなくなった。

→ 学校を設置。教育の専門家を配置。
生徒を組織的、計画的、目的的に教育する。
職業の要請に見合った職業教育が実施される。

→ 社会の階層構造への人材の選抜と配分が学校によって行われることになった。また、職業的地位達成過程が学校の試験によって決定される時代を迎えた。

教育から職業への影響も強まっていく。

- ・適切な人材が供給されることで、職業の発展が可能。
- ・逆に人材供給の失敗による職業の衰退が可能。

教育が職業＝経済の論理に従属するのではなく、教育のもっている理念や価値が職業や経済へインパクトを与え、そのことによって社会の発展が可能になる側面がある。

1-2 職業指導の概念

1-2-1 職業指導の定義

職業指導は、社会変化や、個人のライフサイクルの変化、関連学問領域の研究水準の深化を反映して、時代とともに変化する。

- ①個人の職業的成長発達のプロセスを生涯にわたって学校（幼稚園～大学など）と社会（地域社会、産業界、マスコミなど）において援助する教育。
- ②個人の職業的成長発達の課題を十分踏まえた教育。
- ③それを学校に限定しても、職業のみに狭く限定するのではなく、一般教育、基礎教育との関係の中に位置づけていく教育。

職業教育が教育制度の中で制度化されていく。

①(理念のレベル)

社会の理論や個人のライフサイクルの理論に位置づけされた職業教育の必要性。

②(現実のレベル)

学校制度の性格を反映した、つまり学校教育の進路決定の機関としての性格を反映した職業教育。

①の規範的側面は法律や法規に反映されている。

- ・「人格の完成」(教育基本法第1条)
- ・「職業選択の自由」(日本国憲法第22条)
- ・「社会に必要な職業についての基礎的な知識と技能, 勤労を重んずる態度及び個性に応じて将来の進路を選択する能力を養うこと」(学校教育法第36条第2号)

「職業指導」の概念と用語が、最近では「進路指導」へ

「職業指導とは、個人が職業を選択し、その準備をし、就職し、進歩するのを援助する過程である。」

（文部省『職業指導学習要領』昭和22年）

「進路指導とは、生徒の個人資料、進路情報、啓発的経験および相談を通して、生徒みずから、将来の進路の選択・計画をし、就職または進学して、さらにその後の生活によりよく適応し、進歩する能力を伸長するように、教師が組織的・継続的に指導・援助する過程である。」

（文部省『中学校・高等学校進路指導の手引—中学校学級担任編』昭和36年）

6 学習指導要領の進路指導にかかわる規定

第1章 総則 第6款

6. (4)生徒が自らの在り方生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じ、計画的、組織的な進路指導を行うこと。

第3章 特別活動 第2内容

A ホームルーム活動

- (3) 将来の生き方と進路の適切な選択決定に関すること。

進路適性の理解、進路情報の理解と活用、望ましい職業観の形成、将来の生活の設計、適切な進路の選択決定、進路先への適応など

D 学校行事

- (5) 勤労生産・奉仕的行事

勤労の尊さや意義を理解し、働くことや創造することの喜びを体得し、社会奉仕の精神を養うとともに、職業観の形成や進路の選択決定などに資する体験が得られるような活動を行うこと。

第3 指導計画の作成と内容の取り扱い

- 1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

- (1) 学校の創意工夫を生かすとともに、学校の実態や生徒の発達段階及び特性等を考慮し、教師の適切な指導の下に、生徒による自主的、実践的な活動が助長されるようにすること。その際、奉仕的な活動や、勤労にかかわる体験的な活動の機会をできるだけ取り入れること。
- (2) 生徒指導の機能を十分に生かすとともに、教育相談(進路相談を含む。)についても、生徒の家庭との連絡を密にし、適切に実施できるようにすること。
- (3) 人間としての在り方生き方の指導がホームルーム活動を中心として、特別活動の全体を通じて行われるようにすること。その際、他の教科、特に公民科との関連を図ること。
- (4) ホームルーム活動に配当する授業時数の3分の2程度は内容の(2)及び(3)に配当すること。

アメリカの職業指導でも概念と用語が変化してきている。

「職業指導」(vocational education)から
「キャリア・エデュケーション」(career education)へ。

「キャリア・エデュケーションは、初等・中等・高等・成人教育の諸段階で、それぞれの発達段階に応じて、キャリアに入り進歩するように準備する組織的・総合的な教育である。」

(マーランド Marland, S.P., 1972)

→ キャリア全体を視野に入れ、ライフサイクル全体を包括した概念になってきている。

1-2-2 職業指導の制度化

「社会からの要請」と「個人からの要請」は同様に職業指導を必要としているが、その要請の方向は必ずしも調和したものであるといえない。むしろ、対立している。

産業社会からの要請：

- ①社会からの人材選抜要請への対応
- ②社会変動，技術革新，情報化，国際競争の激化にともなう職業再編成への対応
- ③職業的社会化（個々の職業への「**個人の社会化**」）への対応

個人からの要請：

- ①個人の成長発達の過程を踏まえた対応
- ②個人の職業ニーズを踏まえた対応
- ③職業選択，職業学習，就職，職業的地位達成過程，職業的社会化（「**職業の個人化**」）を踏まえた対応

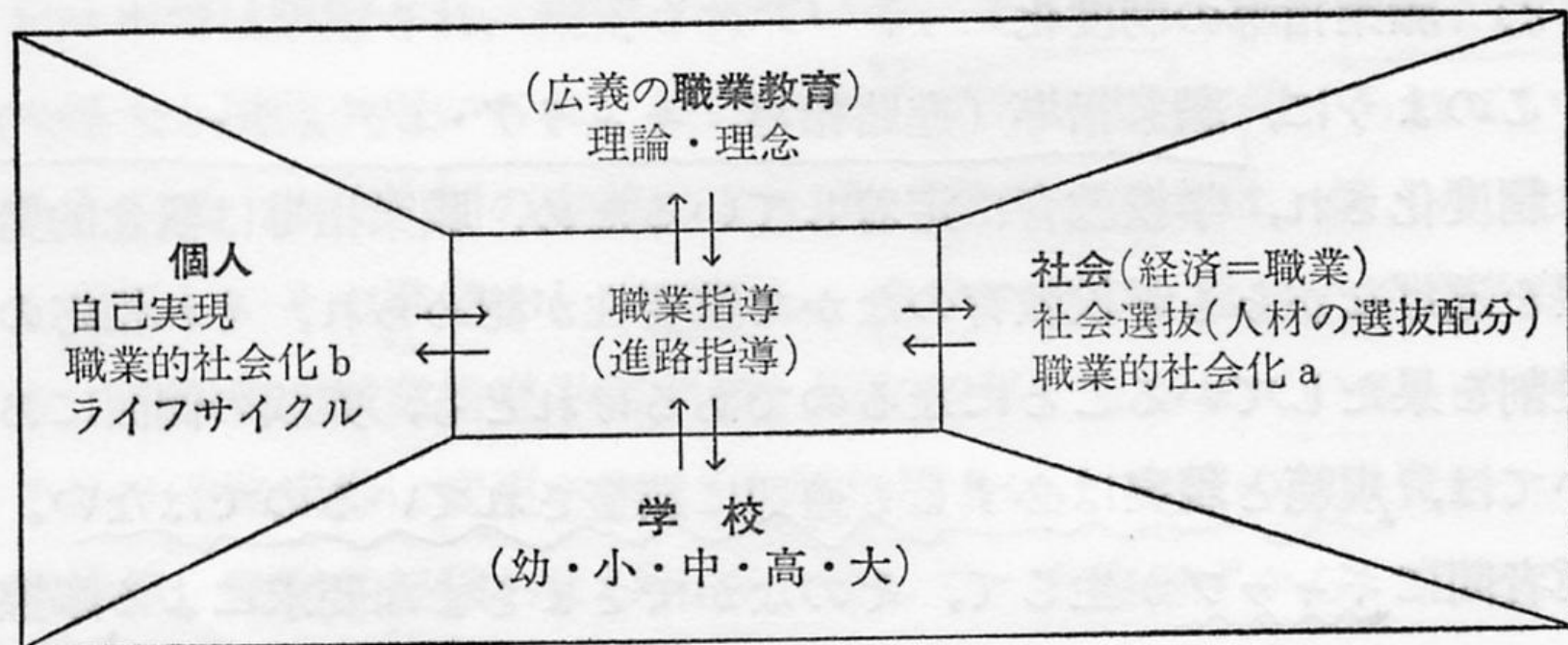


図1-1 職業指導の性格

職業的社会化a 「個人の職業化」

（社会・経済の側からの社会選抜を主軸にしている）
と、

職業的社会化b 「職業の個人化」

（個人の側からの自己実現やライフサイクルを主軸にしている）

とが、葛藤を起こしている。

現実の社会では、 $a > b$ が成立し、個人の自己実現の側面が十分に達成されていない。

a>b の状況において、進行するマイナス面：

- ①受験体制
- ②進学校と職業校の分化
- ③学歴主義による学習の儀礼化
- ④偏差値教育による「偏差値」「輪切り」型の進路指導
- ⑤職業的社会化の病理
- ⑥人間性の阻害と不的確な職業意識の形成

a>b の状況では、合理性、能率性、効率性は追求されるが、教育本来の機能が阻害され、ライフサイクルのなかでゆっくりと成長発達の段階を踏まえて人間を育てていく教育の過程が歪められる。

表1-1 学校進路指導の実践モデル（仙崎武，1988）

型 内容	モデルⅠ (進路の振り分け・選別)	モデルⅡ (知的・合理的選択)	モデルⅢ (個々の生徒のキャリア発達)
理 念・ 目 標	学業成績に適合した 進路の選択・決定	能力、適性に即した進路 の選択、進路先での進路 適応＝定着	人間性（人格）の調和的発達、進路（キ ャリア）の自己決定、職業生涯における 自己実現・自己教育の能力・態度の育成
組 織	卒業学年内での進 学・就職等の実務に ついての役割分担	校務分掌として進路指導 部（課，係）設置，その 下位部門での生徒の進路 先に対応した実務分担	スタッフとしての全校的進路指導委員会， ラインとして専門的活動を分担する進路 指導部（課），第一線で指導にあたる学 級，HR 担任教師の三者によるチームプ レイ
指導計画	卒業学年のみの進 学・就職実務計画	学級，HR における指導 計画	全体計画（教師，生徒，保護者）と個々 の計画
指 導 者	学年主任，進学係， 学級，HR 担任教師	進路指導部（課）員，卒 業学年の学級，HR 担任 教師	進路指導主事，部員，担任教師の他，校 内のすべての関係教師，校外のリソース パースン
指 導・ 学習内容	受験学力向上，入 試就職対策	自己理解（能力，適性）， 進路情報（求人，上級学 校），進路設計（進路実 現の準備）	生徒の進路発達段階に応じた系統的な進 路発達段階課題
指導場面	卒業学年における集 中的な集団指導と卒 業期での二者・三者 面談による個別指導	中・高学年の学級，HR 進路学習，卒業期におけ る集中的個別指導	全学年の学級，HR を中心とし，学校全 体の教育活動を通じて指導
教 材・ 情報資料	学力テスト，模試テ スト結果，学業成績， 業者偏差値	同左プラス生徒の進路意 識希望調査，進学，就職 情報	進路ワークシート，進路自己診断表など による自己学習，個人資料，進路情報 （生き方，教育訓練，職業，仕事，社会）， 卒業生保護者，地域社会等からの知識， 情報
啓 発 的 経 験	とくに配慮も指導も せず	卒業学年を対象とする上 級学校，職場見学，訪問， 卒業生等との座談，懇談 など	学校内外における学習，生活，実習，実 験勤労，奉仕，生産等の諸体験について の総合的・組織的・意図的指導
相 談	担当教師による指示， 勧告，説得的相談	過年度実績，心理テスト 結果，進路情報の提示に よる誘導的相談	循環的または行動的相談による自己理解， 自己受容，自己洞察，キャリア発達の援助
進路選択	他律的，外面的基準 による	やや主体的，内面的基準 による	主体的意思決定，自己選択，自己決定
評 価 追 指 導	当該年度の進学率・ 就職率	進路希望と実現との度あ い不応者（浪人，無業 者）への追指導	個々の生徒の進路成熟，すべての卒業者 への組織的・計画的指導
基 盤 背 景	能力（学力）による 選別，学校間格差肯 定，学校歴偏重	産業能率・近代合理主義， 適材適所による職業的成 功・満足	すべての個人の社会的・職業的自己充実， 自己実現

1-3 職業指導の論理

1-3-1 変動社会の職業指導

変動社会の特徴

- ①産業・職業構造の再編成
- ②情報化
- ③国際化
- ④官僚制化
- ⑤生涯学習社会化
- ⑥大衆化

教育機能自体が現実に従属するだけでなく、現実を革新していく力を十分発揮することが求められる。
未来に対して十分通用する職業教育が求められている。

教育は「保守的機能」と「革新的機能」をもつ。

保守的機能：過去の伝統を伝達して維持していく機能

革新的機能：社会の現状を変革していく機能

社会の経済機能が教育機能を従属させている現在は、「革新的機能」にあまり重点がおかれていない。

個人の側からの十分な職業的社会化が達成されていない。

→ 職業社会の変化に対応する能力，職業のなかで新しい領域を開拓していく能力，職業に対する愛着，興味，意欲などを十分に涵養する教育が必要。

○が長所, ×が短所とすると,

「教科中心主義」 <性悪説の立場>

- 知識中心(教師主体)
- 体系的、系統的学習効率的
- × 画一的、硬直的、管理的

「児童中心主義」 <性善説の立場>

- 経験中心(子ども主体)
- 主体的, 意欲的, 自由な学習
- × 非効率的で時間がかかる
- × 体系的ではない, 単発的

望まれる授業は、どれでしょうか？

1. 楽しくて、よくわかる授業
2. 楽しくないが、よくわかる授業
3. 楽しいが、よくわからない授業
4. 楽しくなくて、よくわからない授業